

らっこ0歳児クラス便り

2022. 12. 13(火)

文責:南 陽子



12月も3分の1が過ぎました。あっという間に今年が終わろうとしています。先月からすると急に寒さがまし太陽の日差しが暖かく感じるようになりました。室内よりも園庭の日の差す場所を探して遊びに行きます。登園してはそのまま外に行きたいと帽子を取り、靴を持っては階段を降り園庭や散歩に行こうとします。時には「センサー」と手招きして【まだ準備してないの?】と言っているかのように呼んでくれます。寒さよりも外で遊びたいという気持ちを思う存分出してくれる子ども達です。

宜しくお願いします!

4月の入園式から少しずつ新しいお友達も増えて今月でらっこ組も5名となりました。12月から新しいお友だちが入園しました。現在5ヶ月です。鏡で写る自分や鏡越しに見える私たちに微笑んでみたり、自分の拳をじっと見つめています。お兄ちゃんが普段から優しい言葉かけをしてくれているので、お話をすると聞こえてくる方を見て笑ってくれます。ベットよりも友達を目線と一緒にの畳の敷いている場所がお気に入りです。みんなの遊ぶ様子を観察しています。これからたくさん飲んでたくさん眠って元気に過ごしてくれたらと思います。



宜しくね! ~自分よりも小さい友達の認識~

陽ちゃんが入園した初日「おはよう～」と抱っこして部屋に連れて行きました。先に登園していた、はなちゃん。近づいてきて顔をじっと見えています。指差して「あ あ」と話しています。「新しいお友達の陽ちゃんだよ、よろしくね」と話すと屈伸しながら頭を下げ挨拶してくれます。かいとくんやてんまくんも登園して来ると横になっている陽ちゃんの顔を覗き込み、笑ってくれました。Hちゃんも近づきじっと見えています。陽ちゃんが泣き出すと私たちの所へ来て【泣いてるよ】と言ってるかのように、エプロンを引っ張って教えてくれました。「教えてくれてありがとう。」と話すとどこかしらホッとしたような表情をしてくれました。それからは、抱っこしていると、授乳クッションを持ってくるはなちゃん。毛布を持ってくるかいとくん。私たちが、わらべうたをしているとあやしているかのように【じーじー「バア」】とわらべうたをしてくれるてんまくん。それぞれが【自分よりも年下】という異年齢の関係を感じているのだなと思いました。

外から帰って来て「陽ちゃん遊んでるかな?ミルク飲んでるかな?」と話すと、真っ先に部屋に帰り確認してまた、私の所に帰って来て肩をトントンして【ここにいるよ】や言葉で眠っていると「ねんね ねんね」と教えてくれます。

友達を思う優しい気持ちが自然と育っているなと感じます。陽ちゃんも4人に応えるかのように目が合うと「あー あー」と笑顔で話してくれるようにもなりました。

らっこのお友達は今まで一番下でお兄ちゃんや、お姉ちゃんに助けて貰っている立場ですが陽ちゃん存在で《いっちょ前》のお兄ちゃん、お姉ちゃんになった気分で誇らしげな表情にも頼もしく感じました。相手を思いやる気持ち、お手伝いする優しい感情を大事に異年齢の関わりや、小さい子への接し方を伝えていきたいと思えます。

今年一年、有難うございました。また、来年も宜しくお願い致します。

